

# 弁護士の失敗学

## 冷や汗が成功への鍵

高中正彦、市川充、  
川畑大輔、岸本史子、的場美友紀、菅沼篤志、奥山隆之／編著

A5判・定価(本体3,000円+税) 送料300円 ※送料は平成26年6月時点の料金です。

### 弁護士というシゴトに、転ばぬ先の杖を。

- 実際のヒヤリハット事例、過去の懲戒事例を分析し、**予防改善策**を示す。
- **仕事の探し方**から**人生設計**まで、弁護士稼業を営む上での**トラブル防止アドバイス**も提示。

### 目次

#### 第1章 弁護士の失敗学 総論

はじめに

- 1 弁護過誤判例から学ぶ
  - (1) 弁護過誤訴訟の現状
  - (2) 弁護過誤訴訟発生の原因
  - (3) 弁護過誤判例が語る教訓
- 2 弁護士懲戒実務から学ぶ
  - (1) 弁護士懲戒の現状
  - (2) 弁護士懲戒実例が語る教訓

#### 第2章 冷や汗体験から失敗を考える

はじめに

- 1 契約交渉での冷や汗
  - 事例1 「弁護士に騙された」?! そんなはずなのに……
  - 事例2 依頼者と連絡つかず。もうすぐ時効が……
- 2 保全事件での冷や汗
  - 事例3 「先生、仮処分の担保金が足りません……」
- 3 訴訟・調停での冷や汗
  - 事例4 「手形の裏書が不連続なのですが……」
  - 事例5 思い込みの恐怖! 擬制されるのは「同意」? 「不同意」?
  - 事例6 裁判官に騙された? 焦って和解は危険!
  - 事例7 「取得税ってなんですか?」説明するのを忘れてた!
- 4 控訴手続での冷や汗
  - 事例8 支部に出すべき控訴状を直接高裁へ郵送。期限が……
- 5 執行事件での冷や汗
  - 事例9 執行場所の特定不足で執行不能?!
- 6 倒産事件での冷や汗
  - 事例10 破産申立て前のドタバタであり得ないミス連発!
  - 事例11 破産申立て前に依頼者から預かり金の返還を求められ……
  - 事例12 相手を信頼したばかりに……白紙委任状の落とし穴
- 7 刑事事件での冷や汗
  - 事例13 「弁護士選任届が必要なんですけど」
  - 事例14 電話口で「弁護士」と名乗ってはダメですか?
  - 事例15 判決期日に被告人が来ない……

#### 8 事件一般での冷や汗

- 事例16 ボス弁の依頼者からの事情聴取が進まない
- 事例17 裁判の時間を勘違い! そのとき、時計の針は……
- 事例18 預かった資料が消失。まさか……
- 事例19 守秘義務違反?! 親子げんかに巻き込まれ……
- 事例20 債権者集会は今日?! 手帳には……

#### 第3章 失敗の防止法を考える

はじめに

- 1 依頼者の開拓と選別
  - (1) 依頼者の開拓方法
  - (2) 気をつけるべき依頼者
  - (3) 警戒を要する弁護士
- 2 依頼者に対する説明と報告
  - (1) 受任時点における説明
  - (2) 事件処理過程における説明・報告
  - (3) 依頼者の意思確認と依頼者意思の尊重
  - (4) 事件終了時点における説明と報告
  - (5) 預かり金品の取扱い
- 3 弁護士報酬の請求と説明
  - (1) 算定の仕方
  - (2) 成功報酬金の請求の仕方
- 4 うっかりミスの防止策
  - (1) 期日管理の方法
  - (2) 事件管理の方法
  - (3) 法律知識のメンテナンス方法
  - (4) 時効管理
  - (5) 整理整頓
- 5 自己研鑽による過誤防止
- 6 依頼者とトラブルになったときの対処法
  - (1) 依頼者から解任されたとき
  - (2) 弁護士からの辞任
  - (3) 依頼者とトラブルになったとき
  - (4) 懲戒請求をされたとき
- 7 うつ病対策 精神の健康法
  - (1) メンタルヘルスとストレス発散方法
  - (2) 仕事と家庭のバランス
- 8 人生設計

#### 第4章 懲戒事例から失敗を考える

はじめに

- 1 事件受任の失敗

- 事例1 見込みのない事件の受任
- 事例2 面談をしない事件処理
- 事例3 報酬に関する説明義務違反
- 事例4 職務を行ってはならない事件の受任(利益相反その1)
- 事例5 職務を行ってはならない事件の受任(利益相反その2)
- 事例6 弁護士の肩書を明示する業務の受任
- 事例7 受任の諾否の通知
- 2 事件処理の失敗
  - 事例8 事件処理の放置
  - 事例9 虚偽の報告
  - 事例10 法律の誤解に基づく説明
  - 事例11 共犯者の弁護士への被告人の信書の開示

の開示

- 事例12 意思確認をしない和解
- 事例13 預かった証拠書類の紛失
- 事例14 預かり金の私的費消
- 事例15 複数依頼者の利害対立
- 3 弁護士報酬に関する失敗
  - 事例16 預かり金と報酬の相殺
  - 事例17 高額報酬の請求
  - 事例18 弁護士報酬確保のための仮差押え
- 4 事件終了後の失敗
  - 事例19 着手金の精算を求める紛議調停手続への理由なき欠席
  - 事例20 受領した高額着手金の精算拒絶
  - 事例21 委任終了後になされた依頼者に不利益な報告書の作成

#### 第5章 懲戒の統計から失敗を考える

はじめに

- 1 事例別に見た懲戒事例
  - (1) 事件放置
  - (2) 預かり金の着服・弁護士報酬
  - (3) 利益相反
  - (4) 事件処理方法に起因する事例
  - (5) 期限徒過
  - (6) 私行
- 2 その他の分類
  - (1) 登録年数ごとの分類
  - (2) 弁護士会ごとの分類
  - (3) 処分の内容ごとの分類
- 3 登録10年以下の弁護士の懲戒の特徴
- 4 まとめ